

年報発刊にあたって

京都府保健環境研究所は昭和24年に設立されて以来、京都府民の生命および健康を守る使命から、健康危機管理事象発生への対応に日夜努力しております。昨今、新型インフルエンザの発生、バイオテロリズムの発生、残留農薬、食品の安全など、人の生命に危険の及ぶ健康危機管理事象の発生が想定されております。当研究所ではそれらの健康危機管理事象に対し、6つの課で対応しており、行政検査、調査研究、府民の人達への情報提供、子供の理科教育などの啓発活動などの業務に邁進しております。

現在、日本全国の健康危機管理事象に対応する地方衛生研究所（感染症や食品、農薬検査などを担当）、や地方環境研究所（廃棄物、土壌、大気汚染などを担当）（京都府は当研究所で両方共に対応）において、第2次世界大戦直後に生まれた、いわゆる団塊の世代の人達が停年退職を迎え、職場を去って行っております。今後、それらの人達が永年に亘り培ってきた検査技術の継承が大きな問題となっており、それらの人の再任用も考えられつつありますが、若い人達の雇用と育成が大きく問われているところであります。

当研究所の年報は、調査研究の論文、学会発表要旨などを中心に発刊いたしましたが、ご高覧いただき、ご意見、ご批評いただけますれば幸甚と存じます。

所員、特に若い人達には責任感、緊張感と探究心を持ち、検査技術を磨き、行政検査、調査研究を行い、当研究所の機能を高め、府民の皆様方の健康危機管理を円滑かつ迅速に行うよう日ごろから申しております。

当研究所の業務に関しましては、検査器機の整備、人員の充足が必須のことではありますが、この点、皆様方のご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

平成20年12月

京都府保健環境研究所長 井 端 泰 彦

目 次

調査研究

1	感染症発生動向調査(2007年)ーウイルス検査ー	1
	木上 照子、石崎 徹、柳瀬 杉夫	
2	感染症流行予測調査事業(2007-2008)	
	ーインフルエンザ感受性調査、インフルエンザウイルス分離調査及び麻疹感受性調査ー	7
	石崎 徹、渡邊 英史、木上 照子、柳瀬 杉夫	
3	ウエストナイルウイルス検査の結果について	15
	石崎 徹、渡邊 英史、岡本 裕行、柳瀬 杉夫	
4	農産物中の残留農薬の調査結果ー平成19年度ー	18
	大脇 成義、都築 英明、山田 豊、大藤 升美、松本 洋宣、塩崎 秀彰	
5	遺伝子組換え食品の検査結果(平成15~19年度)	24
	大藤 升美、大脇 成義、柳瀬 杉夫、都築 英明、石崎 徹、塩崎 秀彰	
6	魚介類中のトリブチルスズ及びトリフェニルスズ化合物の含有量調査結果(1999-2008)	29
	茶谷 祐行、大藤 升美、都築 英明、柳瀬 杉夫、北野 隆一、塩崎 秀彰	
7	無承認無許可医薬品中の医薬品成分の検出事例	32
	松本 洋宣、中村 昌子、塩崎 秀彰	
8	平成18年度のダイオキシン類発生源監視結果とその精度管理について	38
	日下 哲也、古山 和徳、都築 英明、辻 昭博、鳥居南 豊、田村 義男	
9	京都府北部の清浄地域における酸性雨の長期的動向	41
	辻 昭博、日置 正、藤波 直人	
10	水道水質検査機関を対象とした分析精度管理調査結果ー平成19年度ー	53
	坂 雅宏、鳥居南 豊、橋本 明夫、岡嶋 伸親	
11	平成18年度の京都府内のダイオキシン類環境調査結果とその信頼性評価(精度管理)について	59
	田口 寛、古山 和徳、都築 英明、辻 昭博、鳥居南 豊、日下 哲也、田村 義男	
	他誌発表、学会等発表	65